

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2013

10月号

Vol.197

毎月1日発行

ゆるる 杜の伝言板

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成事業



エンヤ~
ドット♪

(NPO法人時薬堂)

OXゲーム

全員で
いいのかな~?

(NPO法人グッドニュース・プロジェクト)

特集
復興への
道

- NPO法人Switch
- 一般財団法人アート・インクルージョン
- NPO法人グッドニュース・プロジェクト
- 一般社団法人コミュニティスペースうみねこ
- NPO法人時薬堂

【トピックス】 ■今年もNPOの信頼性を高めるための事業がスタートします！

すべての若者に「学ぶ」「働く」を

● NPO法人Switch

先日発表された学校基本調査によると、昨年度不登校となった中学生の割合が全国で最も多いのが宮城県でした。新聞報道には東日本大震災の影響が出ています。

被災地では、中学生だけに限らず、もともと不安定になりがちな若者のメンタルヘルスの悪化が危惧されています。

NPO法人Switch（以下、Switch）は、精神的な問題で「学ぶ」「働く」といった当たり前の生活を営めず、社会から孤立する若者を救うために仙台市、石巻市で活動している団体です。

震災でいったんは解散

Switchが法人として認証されたのは二〇一一年三月二日。オフィスの明け渡し日は十四日の予定でした。しかし、その直前の十一日に震災が起きました。

とても事業立ち上げなどやっている場合ではないと感じた理事長の高橋由佳さんはいったんSwitch

の解散を決め、ボランティアとして石巻沿岸部の支援に向かいました。

そこで見たのは仙台とは比較にならない惨憺たる光景。しかし、そんな状況でも被災者は何とか生き抜こうとしていました。「必死で生きる被災者の方々の姿を見るうちに、私たちも再チャレンジしなきゃ、と思うようになりました」と、高橋さん。

四月、高橋さんはSwitchの再結成を呼びかけました。そして約二か月の準備期間ののち、六月に障害福祉サービス事業所「スイッチ・センダイ」の開所を迎えます。

伴走型支援で就職につなげる

「スイッチ・センダイ」ではSwitchの理念でもあるIPS（Individual Placement and Support：個別援助つき就労支援）に基づき、精神的なつまずきを抱えながらも、「働きたい」と願う人々への個別就労プログラムを展開しています。サポート体制としては精神保健福祉士、ジョブコーチ、キャリア



▲石巻NOTEでは日本マイクロソフト(株)の協力のもとITスキルアップトレーニングも行われています

コンサルタントなど専門技能を持つスタッフが揃います。二〇一一年度、二〇一二年度合わせての相談件数は二〇〇件を超え、四十二名の就職者を出しました。

また、二〇一一年八月からは、精神的な問題で通学できなくなった学生、就職活動ができなくなった学生を対象に、学生修学（就学）・就労支援事業も始めました。仙台市内の大学と連携し、修学・復学から就職まで、また在学中から卒業後までをワンストップでサポートしています。

震災の影響色濃い石巻で

過去二年、Switchの活動は仙台市内のみでしたが、今年六月、「ユースサポートカレッジ石巻NOTE」（以下、石巻NOTE）を開所しました。石巻NOTEでは、「ス

イッチ・センダイ」と同じく、就労・復学・修学相談をベースに精神が不安定な若者を支えています。

石巻の若者を取り巻く状況は課題が山積みでした。震災は、直接的な被害だけでなく、さまざまな家庭問題をも引き起こし、それらはすべて若者へのストレスとなっています。「石巻へボランティアに来るたび、ひきこもり、不登校などの話を聞き、継続的な支援が必要という思いを強くしました」と高橋さんは石巻支援の理由を話しました。

今は相談、フォローアップ、就職先企業の開拓が中心で、先日石巻NOTE初の就職者を出しました。また、この冬からは高校生のための有給職業体験プログラム「バイタイン」も始める予定です。石巻の若者が将来も石巻で生活し続けるためのベスづくりを目指しています。

じつは高橋さんは石巻に縁があります。「石巻は以前十一年間住んでいた土地。かつての恩返しの意味も含めて、石巻の次世代を担う若者たちを支え続けたいと思います」。

NPO法人Switch

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-3
東口鳳月ビル602
●TEL：022-762-5851
●FAX：022-762-5853
●URL：http://www.switch-sendai.org

アートでバリアフリー！

●一般財団法人アート・インクルージョン

仙台市青葉区にある就労支援作業所内の一角。そこには鮮やかな配色で塗り分けられた像や優しい色が重ねられた花の絵など、個性的なアート作品がひしめき合っています。

これらの作品の作り手は、みな精神・知的障がいを抱える人々。彼らが自分の作品を披露する際に見せる顔つきはまるでアーティストそのものの。いえ、この作業所内にいるのは、みなアーティストなのです。

この作業所を立ち上げ、運営しているのは一般財団法人アート・インクルージョン（以下、A i）です。

●●●●● 誰もが楽しめる アート・プロジェクト ●●●●●

A iは、障がい者をはじめ、社会の中で弱い立場に置かれている人々が積極的に社会に関わるための「仕組み」と「場」を、アートを通して提供しています。

A i設立のきっかけは二〇〇八年十一月に開催された「とっておきの音楽祭キャラバン」がまち。障

がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しむイベントです。現A i理事長の白木福次郎さんが、仙台市中心部を会場としていたものを長町にも広げたいと考え企画しました。翌二〇〇九年には第二弾も開催し、さらに同年暮れの実行委員会では『音楽以外のアートにも広げたい』という意見が出されました。

二〇一〇年からは名称をアート・インクルージョンとし、ライブ・パフォーマンスやアート・ワークショップなど、様々な形態のアートを満喫できるイベントに生まれ変わりました。以降、このイベントは長町地域を会場に、毎年秋に開催されています。

このように年に一度のイベントとして行われてきたアート・インクルージョンですが、震災を受け活動に変化が生まれました。

まず市民の心を癒すとともに沿岸地域を支援することを目的に、二〇一一年の四月初めから六月末まで毎日、演奏と募金活動を行いました。土日は仙台駅周辺で合唱の路

上演をし、平日は長町で在仙アーティストにライブをしてもらいました。最終的に約四五〇万円ほどの募金が集まり、沿岸被災地と、そこへ支援に入っているNPOに送ることができました。

ほかにも、あすと長町仮説住宅の壁を絵で彩る仮設住宅ラッピング計画など、アートの力を活かした復興支援の活動を展開してきました。

●●● アートな作業所 ●●●

設立時から実行委員会として活動してきたA iは、昨年十二月に一般財団法人となりました。活動の規模が大きくなるのに伴い、それまでのように助成金に頼るだけでは継続が難しくなったからです。「徹底的にやるか、やめるかの選択でした」と白木さんは当時を振り返っています。

財団法人としての新事業として、今年四月に就労継続支援事業B型作業所、アート・インクルージョン・ファクトリー（以下、ファクトリー）を開所させました。「一般企業で働くのは難しいけれど、絵や音楽の才能を持つ人はたくさんいます。その人たちの受け皿になりたいです」と白木さんが語るように、ここでは障がいのある方がアートで自立できるよう、支援が行われています。支援は『二段構え』。利用者は仕事



▲ファクトリーは利用者が学びながら作品を作ることができる場所です

にに応じて時給を受け取り、さらに上げた作品が販売できた場合、その収益の一部も受け取ることができま す。この意味でファクトリーは、障がいのある方が社会に関わるための「仕組み」かつ「場」なのです。

利用者たちの作品を前に、素晴らしいでしよ、と微笑む白木さん。今後は作業場の他に、作品を展示するギャラリーや、カフェをつくるのが目標です。

一般財団法人アート・インクルージョン

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-10-1
第二勝山ビル6F
●TEL：022-797-3672
●FAX：022-797-3673
●URL：http://art-in.org

歌声を心に響かせて

●NPO法人グッドニュース・プロジェクト

十一月四日、仙台市内で十二回目を迎える仙台ゴスペル・フェスティバルが開催されます。その実行委員有志らが、立ち上げた団体が現在のNPO法人グッドニュース・プロジェクト(以下、グッドニュース・プロジェクト)です。きっかけは、沿岸部での炊き出しを通して感じた被災地支援への想いでした。震災以前より、ゴスペル音楽活用のために検討していた団体の目標の一つに支援活動を加え、二〇一一年四月に任意団体化、翌年一月に法人化し、歌の力で支援を続けています。

思い切り大きな声を

グッドニュース・プロジェクトは、団体化後も、緊急的な支援が必要な間、炊き出し・物資運搬を他団体と連携して続けました。

そして二〇一一年六月、まだ避難所だった石巻市河北総合センターで、『ゴスペルワークショップ』を開催し、音楽活動での支援を本格化します。ワークショップは十一月まで

に十回開催し、参加者は延べ一〇〇名を超えました。また、十二月には、仮設住宅を訪れて『歌っこサロン』も開催しました。二〇一二年九月には、山間部にあまり支援の行き届いていない小さな仮設住宅団地があるという話を聞いて、石巻市大田地区を訪れました。昼食やお茶を楽しみながら歌うサロンは、毎月一回、今でも継続しています。

子どもたちも笑顔に

震災後、思い切り大きな声を出す機会がなかった地域住民にとって、ワークショップやサロンは、気分転換の機会になりました。

グッドニュース・プロジェクトは、石巻市雄勝地区での子どもたちの支援にも力を入れてきました。雄勝地区は、市内でも津波被害が大きかった地域の一つです。地域の小学校・中学校の校舎は流失し、子どもたちは、河北地区の高台にある学校に借りして学校生活を送っています。二〇一一年には、その石巻市立



▲雄勝小学校仮設校舎で行われている「放課後歌声広場」の様子

雄勝中学校で、週一回のゴスペル授業を始めました。そして昨年からは、石巻市立雄勝小学校でも月一回の『放課後歌声広場』を行ってきました。雄勝小学校の児童たちは、学校が遠く、スクールバスで通学しています。放課後、バスを待つ時間が、全校児童三十三名の歌声広場になります。最初のうちは、声を出すことを恥ずかしがる児童もいました。それでも、体操を交えたドレミの歌やゲームを取り入れ、リラククスして歌えるように工夫をすると、歌いたい曲のリクエストが挙がるまでになりました。

子どもたちには笑顔が増え、学校行事でも以前とは違った歌声を聞か

せてくれるようになっていきます。

楽しむことを第二に

副理事長の桜井絵美さんは、「歌唱力を上げることが目的ではなく、心を解き放つことが大切。歌を媒体として、前向きな気持ちになってほしい」とこれまでの活動を振り返ります。グッドニュース・プロジェクトでは、一般的に歌われる英語曲のゴスペルのみには限らず、お年寄りや子どもたちが、それぞれ歌いたい曲、歌える曲を扱うように心掛けてきました。例えば、夏がくれば思い出すはかな尾瀬の歌い出しで親しまれる「夏の思い出」など、誰もが知る童謡・唱歌や近年のポップスも題材にしました。

今後もその方針は変わらず、「楽しく歌えるように要望に応じて、コツコツと活動が続けたい」と桜井さん。現在は、スタッフが心のケアに関する基礎講座を受講するなど、歌と併せたより充実した支援の在り方を構想しています。

NPO法人グッドニュース・プロジェクト

〒981-3604 黒川郡大衡村駒場字彦右衛門183-6

●TEL: 070-6492-1965(桜井)

●FAX: 022-345-2992

●E-mail: gnpsinsai@yahoo.co.jp

●URL: http://gnp2011.web.fc2.com/

男性も女性も、いきいき暮らし働ける場を

●一般社団法人コミュニティスペースうみねこ

女川町の国道三九八号線沿いにある「うみねこハウス」で、被災した女川の女性たちが布草履の制作・販売を行っています。震災で仕事を失った女性たちが新しい仕事とやりがいを見つけるため、試行錯誤を繰り返してたどり着いたのが、かぎ針で編むオリジナルの「布草履」です。現在は、うみねこハウスと女川と石巻の仮設住宅三か所で約四十名の女性が布草履づくりに取り組んでいます。

避難所の託児から出発

震災後、現在の一般社団法人コミュニティスペースうみねこ代表理事の八木純子さんは昔の保育士仲間と一緒に、「ママサポーターズ」として避難所で託児を実施。五月に小学校や保育園などが再開して託児が落ち着くと、避難所でお風呂に入れない高齢者がいることに気が付きます。知り合いの「夢みの里」の理事長にお風呂と食事と送迎の提供をお願いし、高齢者支援を開始。その間も、土日は避難所を巡り、子どもたちと遊び

ながら、集めた物資を配布していました。八木さんは物資を配りながら、支援に慣れてしまう生活に疑問を感じます。

七月になり被災者が避難所から仮設住宅に移っていく中で、仮設での新しいコミュニティづくりが求められていました。「集まってお茶を飲むだけでなく、お小遣い程度でも、何か収入になる仕組みを作りたい。仕事をして収入を得て、何に使おうかとワクワクしながら買い物をする。そんな当たり前の生活を取り戻したい」と小物づくりに取り組みます。

ホタテのネットを使ったストラップ、浮き輪のフイを使ったプラントなどいろいろ試みましたが、みんなが楽しく作れてコスト的に見合うものということで、全国の支援者から送られたTシャツを使って編む布草履にたどり着きます。そして、意欲的に制作するには現金収入が大切と、最初からすべて買い取り、イベントやインターネットなどを通じて一五〇〇円で販売してきました。昨年五月には、赤い羽根共同募金



▲うみねこで布草履を作っているみなさん

などの支援を受け、在宅被災者も集まれる活動拠点「うみねこハウス」をオープン。布草履の制作・販売、県外ボランティアとの交流、イベント開催などを行い、全国からの支援をつなぐ拠点として活動してきました。今年の二月二六日には、ママサポーターズから名称を改め、「一般社団法人コミュニティスペースうみねこ」(以下、うみねこ)として法人化。三月からは、さんま型のたい焼き「さんまなたい焼き」の製造販売も開始しました。

お父さんたちの果樹園づくり

布草履で女性が元気になる一方、瓦礫の片づけも終わり、男性が力を発揮できる場が少なくなってきたいました。そこで四月からは被災した

男性による果樹園づくりもスタート。お父さんたちも元気になり、稼げる事業を目指しています。ボランティアの協力で畑の瓦礫撤去、開墾を実施。植える果樹は、イチジクに決めました。津波をかぶったイチジクが塩害にも負けず二年目の秋に実ったのを見たからです。いずれば、水煮などに加工して女川の新たな特産物として発信することを目標にしています。三年後の収穫を待つ間は、唐辛子とニンニクも栽培します。

さらに、果樹園脇にある高白浜地区に唯一残った建物である倉庫を改装し、果樹の加工場兼コミュニティカフェとして復活させる事業も開始。ネット上で寄付を募る「READY TO GO」というサイトを活用し、十一月七日までに一七五万円を目標に寄付を募っていました。

うみねこは、すべての人がイキイキと暮らせる女川を作るため、被災者自らが力を合わせ、自らの自立を目指し、一步一步前に進んでいきます。

一般社団法人コミュニティスペースうみねこ

〒986-2243 牡鹿郡女川町鷺神浜丸山12-1

●TEL: 090-6681-5450

●FAX: 0225-98-7415

●URL: <https://www.facebook.com/mamasupporters/>

共に時間を
過ぐすことが

心の薬

●NPO法人時薬堂

今年の九月十四日、仙台市若林区のニッペリア仮設住宅団地で、「敬老会」が開催されました。敬老会には三十名以上の住民が参加し、民謡に合わせ、手拍子を打ち、踊り、楽しそうに体を動かしました。会和やかに進み、住民からは感謝の声も聞かれました。この敬老会を仮設自治会とともに主催したのはNPO法人時薬堂(以下、時薬堂)です。

震災時仙台市で看護師兼短大の看護学科講師でした。高橋さんの出身地は、津波被害の大きかった南三陸町です。

時薬堂としての活動のきっかけは二〇一一年の七月。高橋さんの知り合いだった南三陸町ボランティアセンターのセンター長から「地元の言葉で仮設住宅に笑いを提供してほしい」と相談を受けます。高橋さんは、友人の穀田千賀子さんの協力があればその期待に応えられると感じました。穀田さんは地元の方言を使った話が得意な民謡の語り部です。

こうして高橋さんと穀田さんによる時薬堂の活動が始まりました。二〇一一年八月以降、南三陸町の平成の森仮設住宅で、地元言葉で語る民謡と民謡、そして健康相談や体操を合わせて行っています。

その後、手芸が得意で現在は時薬堂の事務局を担う引地治美さんも活動に加わりました。このほか、イベントごとに、高橋さん、穀田さん、引地さんがともに所属しているすずめ踊りの祭連(まつら)メンバーや、

●●●
経験を強みに
●●●

時薬堂理事長の高橋由美さんは

看護師や理学療法士資格を持つ知り合いからの協力もあります。

●●●
地元言葉で寄り添う
●●●

仮設住宅での活動に入る際、心掛けたのは地元の言葉で語り、寄り添うこと。「地元言葉で話すことで、本音が聞けるようになりました」と気仙沼出身の穀田さん。それまで仮設住宅には、県外からの支援も多くありました。標準語で話しかけられると、高齢者の方は委縮してしまいます。返答しても方言をくみ取ってもらえず、何度も聞かれることが恥ずかしさやストレスになっていたのです。

南三陸町の社会福祉協議会と連携



▲9月に若林区の仮設住宅で開催された敬老会。歌や踊りの合間には健康診断も行われました。

し仮設住宅のニーズを確認しながら毎月連続して開催することで、住民との距離感が縮まり、訪問を待たなくてももらえるようになりました。「こんなに笑ったのは久しぶり」「楽しみにしていたよ」と声をかけてくれる人、なかなか他人には話づらい震災時の話や病歴の話をしてくれる人も出てきました。

被災地には震災からこれまで、多くの地域からの物資支援・生活支援が届いています。しかし、「だんだんと外部からの支援は減っていきまふ。仮設住宅で暮らす人たちが今後自立・自律していけるよう、宮城県内で活動する私たちが、長期的にサポートしていく必要があると現場で感じました」と高橋さん。

現在は、平成の森仮設住宅だけでなく、仙台市、気仙沼市の仮設住宅でも活動しています。

時薬堂が仮設住宅に通い続けることも大切ですが、今後は仮設住宅の方に活動の一端を担ってもらい、徐々に地域の力を取り戻す流れをつくっていききたいと代表の高橋さんは考えています。

NPO法人時薬堂

- TEL : 090-8256-2469
- E-mail : tokigusuri@gmail.com
- URL : <http://www.ac.auone-net.jp/~np0-toki/index.html>

今年もNPOの信頼性を 高めるための事業が スタートします！

二〇一一年度から二年間、新しい公共支援事業の一環として、全国的に実施されたNPOの基盤整備事業。今年も、杜の伝言板ゆるるでは、「震災復興担い手NPO等支援事業」の一環で、NPOの基礎的能力の向上、およびNPO活動基盤の整備を進めるため、「NPO法人会計基準及び認定NPO法人の普及事業」を実施します。

この事業では、NPO法人会計基準に沿った会計書類（活動計算書及び貸借対照表）の作成支援と、認定NPO法人取得の申請支援を柱とし、NPOの会計強化と認定NPO法人制度の普及を目指します。会費や寄付、そして助成金や補助金、加えて行政からの委託など、NPOが活動に使う資金の大半は託されたお金です。正しく管理し、その内容を公開することが義務づけられています。多くのNPOでは会計業務まで十分に手が回らないのが実情です。そこでこの度の事業では、NPOの会計業務も担う税理士や会計士などの専門家向けのNPO法人会計基

準セミナーや、NPO法人会計基準講座、会計相談会などの開催に加え、会計書類の作成に関わる業務を支援する「会計サポーター」の育成と派遣を実施します。

また、寄付者の税金が控除される認定NPO法人制度については、認定基準が緩和されたものの、申請手続きの煩雑さから、申請する法人はまだ多くありません。そこで、認定NPO法人を増やすため、新しい認定制度についての講座や申請書を作成する実践ワークショップ、申請相談会を開催します。

活動していると、どうしても事業運営や事業費の調達ばかりに意識が向きがちですが、多くの人からの応援を得て活動を継続していくためには、正しい会計報告や情報公開がとても大切です。

まずはこの機会に、NPO法人会計基準や、認定NPO法人制度について理解を深め、可能なら是非、チャレンジしてみましよう。

詳しくは、杜の伝言板ゆるるまで（連絡先は裏表紙下部をご覧ください）

NPO法人会計基準普及&認定NPO法人化支援事業 10月・11月実施予定

大崎

- 会計専門家セミナー 11月7日(木)
- NPO法人会計基準講座 11月21日(木)
(入門編:午前 実践編:午後)
- NPO法人向け会計システム講座 11月下旬
- 会計個別相談会 11月下旬
- 認定NPO法人制度を知る講座 10月30日(水)午前
- 認定NPO法人申請相談会 10月30日(水)午後
- 認定NPO法人申請実践ワークショップ 11月下旬

石巻

- NPO法人会計基準講座 11月18日(月)
(入門編:午前 実践編:午後)
- 認定NPO法人制度を知る講座 11月27日(水)午前
- 認定NPO法人申請相談会 11月27日(水)午後

仙台

- 会計サポーター養成講座説明会 10月18日(金)
- 会計サポーター養成講座 10月24日(木)～
- 会計専門家セミナー 10月29日(火)
- 認定NPO法人制度を知る講座 10月31日(木)午前
- 認定NPO法人申請相談会 10月31日(木)午後
- 認定NPO法人申請実践ワークショップ 11月中旬

大河原

- 認定NPO法人制度を知る講座 11月中旬
- 認定NPO法人申請相談会 11月中旬

◆新入居団体紹介◆

生活困窮者の包括的な支援ネットワークの構築を目指して ～NPO法人仙台夜まわりグループ～

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

みやぎNPOプラザの常設ショップに、十月からNPO法人仙台夜まわりグループ（以下、夜まわりグループ）が入居し、生活困窮者総合相談支援センターとして「HELP!みやぎ生活困窮者ホットライン」（以下ホットライン）を開設しました。団体の活動は、二〇〇〇年一月、仙台市内で路上生活者の安否確認のために行った「夜まわり」から始まりました。その後、団体は、他の団体や行政・専門家などと協力し、数多くの路上生活者や生活困窮者のために、様々な生活支援や自律支援の活動に取り組んできました。

増え続ける路上生活者・生活困窮者

夜まわりグループは、震災直後から、路上生活者や生活困窮者を対象とした支援活動を継続しながら、宮城県内に留まらず、岩手、福島県内でも被災して孤立した集落や避難所を巡り、物資の提供や炊き出しを行っていました。

団体の活動が広がりをもたせるなか、夜まわりグループがホットラインの開設に至った背景には、震災後、被災地域を中心に東北各地から寄せられる相談件数の急増があります。

夜まわりグループが、支援した相談を受けた件数は、震災前に比べおよそ一・五倍に上昇。相談者の

多くが震災で家や仕事を失い、路上に出ざるをえない状況や、いつ路上に出てもおかしくない状況にありまします。また、相談者のなかには、震災で家族や地域の支えを失った社会的に弱い立場にある人や、震災復興関連の仕事に就くために東北に来て、その後、厳しい労働条件や失業により路上生活や生活困窮に陥った人も少なくありません。

新たな拠点を獲得

これまで、毎週木曜日に「ゆっくり過す会」を開催してきたみやぎNPOプラザに生活困窮者総合相談支援センターを開設できたことについて、夜まわりグループ事務局次長の青木淳子さんは、「仙台駅から近いプラザは、県外から来る相談者にもわかりやすい場所にある。さらに、ホットラインが公共のオープン



▲今年9月に開催されたゆっくり過す会の様子

の活動の抱負についても語りました。新しい拠点を得た夜まわりグループの今後の活動が期待されます。

HELP!みやぎ生活困窮者—ホットライン—

- 直接対応相談 予約制
火～日 10:00～15:00
定休日 毎週月曜日、プラザ閉館日
- 年中無休・時間外対応電話受付
8:00～21:30
- TEL: 050-5539-6789

そして、「ホットラインを中心に、今まで協力体制を築いてきた他の団体や専門家との連携を強化し、路上生活者や生活困窮者の現状について情報を集約・データ化することにより、具体的に包括的な支援活動や行政への施策提言を行いたい」と団体の活動の抱負についても語りました。新しい拠点を得た夜まわりグループの今後の活動が期待されます。



▲仙台夜まわりグループスタッフの皆さん

プラザの 無料 NPO相談

法人設立・運営相談

毎週水曜日

経営相談

10/17(木)

会計・税務相談

10/24(木)

各相談要予約 申込
定員3団体(先着)

各相談
13:00～17:00
(1団体あたり約1時間)

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者・特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

第9回 東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド(GBFund)

- 助成対象：1)被災者・被災地を応援する目的で行われる芸術・文化活動
2)被災地の有形無形の文化資源を再生していく活動
3)その他、当ファンドの目的に合致すると判断される活動
- 助成金額：原則上限50万円
※ファンドの総額に照らしつつ、選考の都度、助成金額の総額を定め、採択件数および助成金額を検討
※他の助成金等との併願も可能
- 募集締切：10月25日(金) 消印有効
- 連絡先：公益社団法人企業メセナ協議会
〒108-0014 東京都港区芝5-3-2
アイセ芝ビル8階 「GBFund」係
TEL：03-5439-4520 FAX：03-5439-4521
E-mail：gbfund@mecenat.or.jp

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金助成 住民支え合い活動助成(第10次)」

- 助成対象：被災地における地元のグループによる助け合い活動
- 対象団体：宮城県において地元住民のグループ等による助け合い活動を行う、宮城県に所在し県民5名以上で構成されている住民団体やボランティアグループ、NPO法人等
- 助成金額：1団体1回につき上限10万円
(平成25年度分として総額5,000万円)
同団体から1年間に2回までの応募が可能
- 募集締切：10月31日(木) 必着
- 連絡先：社会福祉法人宮城県共同募金会
〒984-0051 仙台市若林区新寺1-4-28
TEL：022-292-5001 FAX：022-292-5002

「花王・みんなの森づくり活動」2013年助成

【「森づくり活動」分野】

- 助成対象：植樹や樹木の管理、里山や雑木林などでの保全・復元活動など
- 対象団体：国内で身近な緑を守り、育てる活動をしている団体(国内に限る)

【「環境教育活動」分野】

- 助成対象：緑地や里山をフィールドとした環境教育活動で、植樹や里山保全活動を通じて環境を大切にすることを育む活動など
- 対象団体：国内で身近な緑を活用し、子どもたちに緑とのふれあいの機会を創出する活動を行っている団体

【共通事項】

- 助成金額：上限金額は初年度50万円
(2年目50万円、3年目25万円)を予定
(件数15～20団体)
- 助成期間：2014年3月～2017年3月までの3年間

※活動状況により2年目以降の助成の継続を中止する場合もあり

- 募集締切：10月31日(木) 消印有効
- 連絡先：公益財団法人都市緑化機構
「花王・みんなの森づくり活動助成」事務局
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4
田村ビル2階
TEL：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195
E-mail：midori.info@urbangreen.or.jp

国際交流事業等助成金(平成25年度第4回)

- 助成対象：営利等を目的としない次に掲げる事業
1)県内で開催する、外国人と地域住民との友好交流事業や、地域住民の国際理解を深めるための普及啓発事業等
2)外国において、本県の優れた文化等を紹介し、外国人と交流を図る事業
3)開発途上国等の地域住民に対して行う各種の協力・支援事業
4)その他、地域の国際交流・協力の推進に寄与すると認められる事業
- 対象団体：1)団体の運営に必要な事項について定めがあり、原則1年以上の活動実績がある団体
2)県外に主たる事務所を有し、県内ではその支部組織等が活動している国際交流団体等で、支部組織等の運営に必要な事項について定めがあり、かつ1年以上の活動実績があるもの
- 助成金額：1件あたり上限25万円
※助成対象経費額により異なります
- 助成期間：1月1日～3月31日に開始する事業
- 募集締切：11月10日(日)
- 連絡先：公益財団法人宮城県国際化協会 企画事業課
〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL：022-275-3796 FAX：022-272-5063
E-mail：mail@mia-miyagi.jp

平成25年度 損保ジャパン記念財団 NPO基盤強化資金助成

「認定NPO法人取得資金」の助成

- 助成対象：「認定NPO法人」の取得に関する費用であれば、使途は問いません。ただし、原則として2015年3月末までに所轄庁に、「認定」の申請を行うことが必要です(所轄庁受付日が、2013年4月1日～2015年3月31日のものが対象)
- 対象団体：社会福祉分野で活動し、認定NPO法人の取得を計画しているNPO法人
※仮認定を含む
※2013年4月1日以降に、認定NPO法人の取得申請をすでに提出している団体(認定済みの団体も含む)も対象です
- 助成金額：1団体30万円(総額600万円を予定)
- 募集締切：11月15日(金)
- 連絡先：公益財団法人損保ジャパン記念財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL：03-3349-9570 FAX：03-5322-5257



第1回 石巻リバーサイドマラソン

元氣いっぱい走って、みんなで楽しもう！

- 日 時：11月4日(月・祝) 10:00～13:00(受付開始8:00～)
- 場 所：石巻追波川河川運動公園陸上競技場ランニングウォーキングコース(石巻市小船越山畑383-1)
- 参加資格：平成25年8月現在、満12才以上の者であり、健康状態に問題ない方、かつ身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳の交付を受けた者、もしくはその取得の対象に隸する障がいのある者であり、大会主催者が認めたもの。また、その家族および支援者等の関係者
- 種 目：(1)6kmコース 10:00スタート
(2)3kmコース 11:00スタート
(3)1kmコース 10:30スタート
(※1kmコースは、車イスの方のみ対象です)
- 参加費：100円(保険料含む、当日受付にて支払)
- 表彰：各コース6位までを入賞
(但し、対象は障がい当事者のみ)
表彰区分は、各コース19才以下の部、20才以上の部の2つ(但し1kmコースは年齢区分なし)
- 申込締切：10月25日(金)
- 申込方法：下記連絡先まで、氏名、年齢、連絡先、出場区分、障がい種別、参加希望コースを記入し、FAXまたは電話にて申込
- 主 催：石巻リバーサイドマラソン大会実行委員会事務局
- 連絡先：事務局(障がい者支援施設 ひたかみ園内)
TEL：0225-93-9063 FAX：0225-93-9031



第12回 仙台ゴスペル・フェスティバル

ようこそ!ゴスフェスへ!「仙台ゴスペル・フェスティバル」は、街角での歌声市民祭典です!当日ボランティアも随時募集しています。(ボランティア説明会10月26日(土)13:30～15:00 東京エレクトロンホール宮城内会議室にて。説明会欠席の方には資料郵送。)

- 日 時：11月4日(月祝) 11:00～19:00
- 場 所：市民広場・一番町商店街・パルコ前 他、屋外全10会場
- 出 演：公募した87組総勢1000人の歌唱グループ
- 観 覧：無料
- 主 催：仙台ゴスペル・フェスティバル実行委員会
- 連絡先：TEL/FAX：022-341-4163



子育て支援学習講演会参加者募集 講演学習会タイトル「子どもの貧困と虐待について」

ニュースなどで耳にする「子どもの貧困」とはそもそもなんで

しょう。一見、身の回りは物があふれているように見えますが、先進国の中で子どもの貧困率の高い日本の現状を知り、その影響による子どもへの虐待について学びます。私たちに何ができるかを一緒に考えてみませんか。

- 日 時：11月6日(水) 10:00～12:00
- 場 所：仙台シルバーセンター1階交流ホール
仙台市青葉区花京院1-3-2(仙台駅より徒歩7分)
- 講 師：千葉喜久也氏(東北福祉大学・東京有明医療短期大学准教授)
- 対 象：どなたでも参加できます(要申込)
- 定 員：150名
- 参加費：無料
- 託 児：あり(対象：1歳～未就学児、無料、要申込、定員20名)
- 申込方法：郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お子さんの年齢と名前(託児をお申し込みの方のみ)、みやぎ生協のメンバーの方はメンバーコードを明記のうえ、ハガキ・FAX・メールでお申し込みください。
※一人で複数の申込ができます。参加人数をお知らせください
- 主 催：みやぎ生協生活文化部
- 連絡先：〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
みやぎ生協生活文化部/菊地
TEL：022-218-3880 FAX：022-218-3663
E-mail：sn.mkosodate@todock.jp



仙台朗読奉仕の会 定期朗読会2013 ～明日からふく風～

仙台朗読奉仕の会は、主に目の不自由な方を対象に、音訳などのサービスを行っています。毎年、会員のスキルアップとリスナーの方々との交流のために朗読会を開催してきました。今年は、リスナーの皆さんも同じ読み手として参加していただく朗読会です！

- 日 時：11月9日(土) 14:00～(開場13:30)
- 場 所：仙台市福祉プラザ1階 プラザホール
- 内 容：・東直子『とりつくしま』より「マッサージ」
・「詩とエッセイでつづる茨木のり子の肖像」山本安英エッセイ・詩など
・『いのちの砂時計』より「盲目の傾聴ボランティア」ほか
・言葉のひびき～短歌を読む～
・モハメド・O・アブディン『わが盲想』より
・太宰幸子『地名は知っていた』より「荒浜」など
- 参加費：無料
- 主 催：仙台朗読奉仕の会
- 連絡先：TEL：022-771-8837(担当：菊地)

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です！**
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

- 場 所：仙台市民活動サポートセンター地下1F
市民活動シアター(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内 容：★「311まるごとアーカイブス」の発災直後から
現在までの取り組み紹介
★復興過程を記録する意味について
★震災アーカイブ・コンテンツの活用について
ディスカッション
- 講 師：長坂俊成氏(立教大教授、311まるごとアーカイブス)
- 定 員：100名(先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：以下の連絡先まで、氏名・連絡先を明記の上、
FAX、メールまたは電話にて事前申込
- 連 絡 先：NPO法人20世紀アーカイブ仙台
TEL：022-387-0656 FAX：022-387-0651
E-mail：npo@20thcas.or.jp

10/20 傾聴講座 基本講座(全3回)

傾聴とは、相手のところに寄り添い、じっくり聴くこと。コミュニケーションに大切な聴き方の姿勢であり、心構えです。基本を学び、ご自身の生活に活かしてみませんか？基本をわかりやすく学べる連続講座です。

- 日 時：すべて日曜日 10:00～13:00 開場9:30
(1)10月20日 (2)10月27日 (3)11月10日
- 場 所：NPOこころの休憩所 Sawa's Cafe
(仙台市青葉区上杉2-4-21リバーシティ上杉101)
- 参 加 費：各回3,000円(税込)
【全回割引特典】全3回8,000円(税込)初回時に
納入で割引有
参加費は参加当日持参。飲み物代別
当NPO会員は飲み物代300円をサービス
欠席の回は、2014年、定期開催の同講座で振
替受講可能
- 講 師：大山佳世さん(心理カウンセラー)
- 申込方法：氏名、住所、TEL、メールアドレスを明記の上、
以下の連絡先まで申込
- 連 絡 先：NPOこころの休憩所 Sawa's Cafe
TEL：022-797-5114
E-mail：sawas_cafe@love.plala.or.jp

10/23 笑いながら聞ける健康セミナー

歯がなくなるとボケる？歯周病は生活習慣病の元

- 日 時：10月23日(水) 13:30～15:30
- 場 所：NPO法人シニアネット仙台
(仙台市青葉区一番町2-5-12 一番町中央ビル8階)
- 講 師：阿部和宏氏(健康管理士)
- 参 加 費：300円(コーヒー付)
- 主 催：NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
- 連 絡 先：シニアセンター サロンわいわい一番町
TEL/FAX：022-217-0101

10/25 NPOが融資を受けるためには

新規事業の立ち上げ、従来事業の拡充のための有効な選択肢として、融資を考えたことはありませんか？NPOだからといって、融資を受けられないということはありません。融資の仕組みから事業計画の立て方までを学び、これからの団体の発展に向けて、融資の有効活用を考えてみませんか？

- 日 時：10月25日(金) 14:00～16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 講 師：日本政策金融公庫
- 内 容：(1)金融機関を活用する
(2)ワークショップ「事業計画の立て方」
(3)融資を受けるためには？
※講座終了後には個別相談の時間を設けます
(1団体15分程度)
- 対 象：NPO法人の代表・役員・会計担当など
- 定 員：20名
- 参 加 費：800円
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

10/26 簡単ホームページ作成講座

団体の活動が市民から信頼され支持されるためには、積極的に情報発信することが重要です。簡単に費用をかけないでスマホにも対応したホームページの作り方を指導します。

- 日 時：10月26日(土) 10:30～16:30
- 場 所：みやぎNPOプラザ 研修室(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 対 象：パソコンの基本操作ができる方、個人・団体の関係者を問わず
- 定 員：5名(先着順)
- 参 加 費：3,500円(テキスト代込)
※実習で使うパソコンは用意します。パソコンの持ち込みは可能ですが、Wi-Fi対応であること
- 申込方法：下記URLより申込用紙をダウンロードし、必要事項を明記の上、FAXまたはメールにて
- 申込締切：10月21日(月)
- 主 催：NPO法人イー・エルダー東北支部
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-796-8091(担当：武藤)
E-mail：tohoku@e-elder.jp
URL：http://www.e-elder.jp/tohoku/

10/26 平成25年度 ジェンダー論公開講座 震災と女性～今、わたしたちは何をすべきか～

私たちは東日本大震災を経験し、社会はまだまだ男女が平等でないこと、非常時にはそれが顕在化することを痛感しました。ジェンダー視点で「災害」を見直してみると、防災・減災につながる地域再生のカギが。被災地の女性たちを対象にした調査結果を検証し、わたしたちは何をすべきか、考えます。

- 日 時：10月26日(土) 13:30～15:30
- 場 所：エル・ソーラ仙台大研修室(アエルビル28階)
- 講 師：宗片恵美子氏(NPO法人イコールネット仙台代表理事)
- 定 員：50名(ジェンダー論講座通年受講生含む)
- 参 加 費：1,000円
- 託 児：6ヶ月以上小学1年まで(先着順、要申込)
託児利用料：子ども1人につき300円
託児締切：10月17日(木)
- 申込方法：下記連絡先までご連絡下さい
※9月6日(金)申込開始
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連 絡 先：仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台 管理事業係
TEL：022-268-8044 FAX：022-268-8045
URL：http://www.sendai-l.jp

被災・被害は建造物だけではないはず。被災地で暮らす私たちに何が出来るかをこれまで被災地で支援をしてきた女性たちの思いを形に、そして被災地に暮らす私たち自らがパワーアップをし、心の復興そして宮城の復興を目指します。

- 日時：10月15日(火) 10:00～ (受付開始9:30)
- 場所：ヤフー石巻復興ベース
(石巻市千石町4-42 石巻河北ビル1F)
- 内容：★講話「支援者もえづきえないように自分のためのケア」(仮題)
講師：フェミニストカウンセラー川喜田好恵氏
(日本フェミニストカウンセラー協会代表理事)
★ランチミーティング など
- 対象：被災者支援関係者、行政関係者、NPO関係者、一人の女性として悩んでいる個人、その他どなたでも受講可(男性の受講も可)
- 定員：30名程度
- 参加費：500円(軽食ランチ付)
- 申込方法：FAX、郵送、メールにて受け付けます
- 申込締切：10月10日(木)
- 主催：NPO活動任意団体 心のさろん
- 連絡先：心のさろん(担当：高橋由利、大橋京子)
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内
TEL/FAX：022-257-1376
E-mail：kokoro@miyagi-npo.gr.jp

10/16 NPO夜学 ～もうひとつの生き方と出会う～

「市民活動に関わってみたい!」「でも…働きながらできる?」…そんな考えをお持ちのあなた! 特技や経験を活かして、あなたにもできる社会貢献をNPOで見つけませんか? NPO夜学は、仕事や趣味だけじゃない、「新しい価値観との出会いの場」です。

- 内容：★第1回「NPOとボランティア」
日時：10月16日(水) 19:00～21:00
講師：大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)
★第2回「NPOを立ち上げる」
日時：11月6日(水) 19:00～21:00
講師：阿部恭子氏(NPO法人WorldOpenHeart代表)
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 対象：20～40代の社会人・学生で、市民活動に関心のある方など
- 定員：15名程度(申込先着順)

縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体			
		宮城県等所轄分8月11日～9月10日 仙台市所轄分8月11日～9月10日	
団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等 南三陸町復興協会	本吉郡 南三陸町	地域の高齢者・障害者等への生活支援に関する活動等	8/29
気仙沼銀河学校	気仙沼市	主に東日本大震災の被災地において、光害に関する普及啓発事業等を行い、良好な光環境を構築する活動	9/10
秘密基地プロジェクト	泉区	介護保険法による居宅介護支援事業、介護保険法による通所介護事業及び介護予防通所介護事業、福祉、介護に関する調査及び相談に関する事業等	8/14
仙台市 慶友舎	青葉区	不登校児・生徒、高校中退生とその家族に対する、相談、カウンセリングと学習を通じた支援事業、学習障害、注意欠陥多動性障害や、基礎学力の不足により学校で苦戦している子どもたちやその家族に対しての支援事業、不登校や引きこもり等により進路を定められない青少年への職業指導と訓練、資格取得、職業相談による就労支援事業等	8/23
LASELVAROI	青葉区	サッカーの指導・育成事業、スポーツ大会・イベントの運営事業	8/28

- 参加費：1,000円(税込)
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

10/19 自閉症スペクトラム障害の人が豊かに暮らすために ～告知・支援・そして自立へ

親も子も、社会の中で生きていかなければなりません。どうせ生きるなら、楽しく希望を持って生き方がいいに決まっています。だから、もっと自閉症を理解してもらいましょう。そして、自閉症についてもっと学びましょう。

- 日時：10月19日(土) 13:00～16:00(開場12:30)
- 場所：仙台市福祉プラザ2階 ふれあいホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
※駐車場はありませんので、一般の駐車場または公共交通機関をご利用ください
- 講師：金野公一氏(サポートはぎ診療所医師)
薦森武夫氏(仙台市北部発達相談支援センター学齢児支援係長)
- 参加費：一般1,000円、会員500円
- 申込方法：以下のFAX、メールのいずれかで事前申込要。
キャンセルの場合は、前日までに連絡ください。
連絡がない場合キャンセル料をいただきます。
- 主催：宮城県自閉症協会
- 連絡先：〒984-0816 仙台市若林区河原町2-2-3 南材ホーム内
TEL：080-3328-3802
E-mail：m_autism@yahoo.co.jp
FAX：022-261-2352 (柴田)

10/19 伝える学校 第2回 「震災アーカイブをミライに伝える」

震災を経験した私たちがいま、未来の市民に向けてできること。その1つは、震災を経験した当事者として、さまざまな視点から「震災を伝えること」。この「伝える学校」では、これまでに「震災を伝えること」に取り組んできた方々をお招きして、「伝える」ための独自の視点を学び、共有しながら、仙台市民である私たちができることを発信していきます。

- 日時：10月19日(土)
1時間目13:00～15:00、2時間目15:15～17:15

NPO法人に認証された団体			
		宮城県等所轄分8月11日～9月10日 仙台市所轄分8月11日～9月10日	
団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等 南三陸コミュニティメディア	本吉郡 南三陸町	地域情報をインターネットや紙媒体により、地域住民及び全国へ発信、提供を行い、様々な活動主体のつなぎ役となる活動	8/19
仙台市 FIRST ASCENT JAPAN.	青葉区	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(以下、「障害者総合支援法」という)に基づく障害福祉サービス事業、障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業及び特定相談支援事業、児童福祉法に基づく障害児通所支援事業等	8/13
仙台市 彩り	泉区	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(以下、「障害者総合支援法」という)に基づく障害福祉サービス事業、障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業及び特定相談支援事業、児童福祉法に基づく障害児通所支援事業等	8/20
仙台市 仙台中田スポーツクラブ	太白区	青少年に対するスポーツスクール運営事業、スポーツ大会の運営、及び指導者の育成事業、スポーツ施設の管理運営の受託に関する事業等	9/4

宮城県の
NPO法人数 **739** 団体
宮城県等所轄：339団体 ※2013年
仙台市所轄：400団体 9月10日現在

た街の顔や自然を発見し、運動と共に参加者の交流をはかり、歴史ある伊達街仙台の認識を深めることが目的です。

- 日 時：★10月13日(日)
 第3行程：26番～33番札所
 「四郎丸・六郷・三十三番目札所向山までは歩く行程が最も長い26番札所から33番札所の第3行程地域」
 (1)JR南仙台駅前1番バス乗り場前 8:00集合
 (2)落合観音堂境内(四郎丸) 8:45集合、9:00出発
 ※全行程徒歩で回ります
- 定 員：各回50人
 ●参 加 費：一般2,500円(レジャー保険・小冊子含む)、楽遊ネットワーク宮城会員2,000円
 ●持 ち 物：各自おにぎり持参の上、歩きやすい服装でご参加ください
 ●申込方法：所定の申込書に記入の上、下記連絡先まで申込
 ●主 催：NPO法人楽遊(らくゆう)ネットワーク宮城
 ●連 絡 先：〒980-0021 仙台市青葉区中央2-7-30 角川ビル6F
 TEL：022-261-9869 FAX：022-261-0545
 E-mail：eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
 URL：http://www9.ocn.ne.jp/~eikaiwa/rakuyuu.html

10/14 支援の輪をつなぐ子育て応援まつり 「杜の子まつり～あそびのひろばin石巻～」

不要なおもちゃを交換し「カエルポイント」を集め、欲しいおもちゃをポイントでゲットするあそび「かえっこバザール」と、楽しみながら減災の知識を学ぶ「防サイエンスショー」を公演します。
 ＊カエルポイントを集める方法は、使わなくなったおもちゃを持ってくる、ゲーム・工作などのワークショップに参加する、スタッフのお仕事を手伝うなどです。最後にはポイントによるオークションがあります！

- 日 時：10月14日(月・祝)12:30～16:00
 ●場 所：河北町総合センタービッグバン アリーナ
 ●内 容：第1部：『かえっこバザール』12:30～15:00
 第2部：『阿部清人の防サイエンスショー』15:00～16:00
- 参 加 費：無料
 ●主 催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
 ●連 絡 先：事務局(担当：吉澤)
 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
 TEL/FAX：022-375-3548

10/14 高橋智美ワークショップ 「雑貨をデザインするシゴト」

デザインしたものをカタチにするには？手紙用品や紙モノのデザイナーである仙台在住の高橋智美さんを講師にむかえ、実際にデザインしてみるワークショップです！

- 日 時：10月14日(月・祝)13:30～16:30
 ●場 所：せんだいメディアテーク 7階会議室b
 (仙台市青葉区春日町2-1)
 ●講 師：高橋智美氏(雑貨・手紙用品店yutoriko.店主)
 ●対 象：どなたでも参加できます(要申込)
 ●定 員：20名(先着順)
 ●参 加 費：1,500円
 ●申込方法：下記連絡先まで、氏名、連絡先、参加希望講座を記入し、FAX、E-mailまたは電話にて申込
 ●主 催：一般社団法人メディアデザイン
 ●連 絡 先：〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11
 朝日プラザ北一番丁1階
 TEL/FAX：022-224-5308
 E-mail：sendai@mediadesign.jp

10/14 スポ・レク祭 マイタウンスポーツデー

からだと心を上手に動かしながら、できるだけ現在の力をキープしてもらうことを目的に活動しています。親子で身体を動かし、地域の人たちとの交流を楽しんでもらおう、と震災後は、あすと長町での支援活動も行っています。今回は、仮設住宅内外を問わない、スポ・レク祭を開催します。

- 日 時：10月14日(月・祝)10:00～15:00
 ●場 所：仙台市体育館(軽運動場)
 ●内 容：9つのスポーツ・ゲームを準備しています。
 それぞれの種目にチャレンジしてみよう！
- 参 加 費：無料
 ●主 催：仙台市太白区レクリエーション協会
 ●連 絡 先：仙台市体育館
 TEL：022-244-1111

10/15 「心のさろん」 研修事業 被災地における女性支援者のためのパワーアップ講座(Ⅱ) ～被災地宮城の復興に向けて～

3.11からの時間が経過すると共に見えてくる「心の被災」。

かほく「108」クラブ通信 河北新報総合サービス

当社は設立して10年になり、河北新報社の8階で出版事業、人材派遣事業、受託業務などを行っています。

かほく「108」クラブでは積極的に活動しており、大震災の被災地へは、義援金を贈らせていただいたほか、図書館や学校に本を寄贈させていただきました。

また、被災地の仮設住宅地域を巡回する移動図書館「ブックワゴン」やミニ図書館にも協力しました。

河北新報関連会社として、地元宮城の歴史、文化、地域性を伝える出版事業を心掛けるとともに、他の分野でもこの精神を忘れずに幅広く活動していきます。



▲河北新報社の本なども出版しています

10/6

「野外キッズ安全講座」

親子(3才以上)を対象に、野外で活動する時の注意点や安全対策を、自然のなかで レクチャーします。月1～2回程度、年間を通して継続して行きます。詳細は、HPも参照下さい。

- 日 時：全て日曜日9:00～14:00
★10月6日 ★10月27日
- 場 所：仙台市青葉区愛子「さいかち沼周辺」
- 集 合：JR愛子駅前 午前9時
- 参 加 費：1人1回700円(資料・保険代含む)昼食代別途
- 定 員：親子20組(先着順)
- 申込方法：下記連絡先へ、3日前まで申込み
- 主 催：NPO東北アウトドア情報センター
- 連 絡 先：担当 八嶋
TEL：090-8616-1397
E-mail：toimail@nifty.com
URL：http://www8.ocn.ne.jp/~toi/

10/10

ほおづきの飾り置きづくり

秋の季節に向けておしゃれな「ほおづきの飾り置き」を作ませんか？着古した着物の生地を縫い合わせて作ります。手のひらサイズの丸くてかわいい「ほおづき達」を飾れば、お部屋や玄関が華やかになります。

- 日 時：10月10日(木) 13:30～14:30
- 場 所：MELON事務局
(仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台ビル5F)
- 参 加 費：一般400円/会員300円
- 持 ち 物：マイタンブラー
- 定 員：10名(申込先着順)
- 申込方法：氏名(フリガナ)、連絡先を明記の上、下記連絡先まで申込
- 申込締切：10月8日(火)
- 主 催：公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
- 連 絡 先：〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台ビル5階
TEL：022-276-5118 FAX：022-219-5713
E-mail：melon@miyagi.jp.org
URL：http://www.melon.or.jp/melon/

10/12

第4回条例の会仙台総会&
「障害者差別解消法」市民公開シンポジウム

内閣府障害者制度改革担当室長の東俊裕氏をお招きし「障害者差別解消法の説明と条例づくり」について講演いただきます

す。その他、当会の顧問弁護士と東氏の対談、当事者差別体験リレートークも開催。一緒に考えましょう。

- 日 時：10月12日(土) 14:00～17:00
- 場 所：仙台市青年文化センター 3階 エッグホール
- 内 容：★シンポジウム(14:00～17:00)
- 参 加 費：無料
- 主 催：誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる仙台連絡協議会(愛称：条例の会仙台)
- 連 絡 先：(担当：杉山)
〒982-0011 仙台市太白区長町1-6-1
(CILたすけと内)
TEL：022-248-6054 FAX：022-738-9501
E-mail：jyoureisendai@gmail.com
URL：http://blog.canpan.info/jyourei/

10/13

「～震災復興支援事業～ファミリー和太鼓
ワークショップ&成果発表会」

秋保にある「ほうねん座」の稽古場を会場に、ファミリーで和太鼓に挑戦します。子どもも大人も一緒に思いっきり太鼓を叩いて心を開放し、響きを楽しみましょう！ワークショップのあとは、みやぎのまつり会場で、成果発表を行います。

- 日 時：10月13日(日)ワークショップ 9:45～17:00
10月20日(日)成果発表会 9:00～12:00
- 場 所：ワークショップ：民族歌舞団 ほうねん座 稽古場(秋保)
成果発表会：みやぎのまつり会場 榴ヶ岡市民センター 2階 体育館
- 対 象：家族で和太鼓を楽しみたい方
(原則として両日参加可能な方)
- 定 員：20組程度(先着順)
- 参 加 費：無料(昼食各自持参)
- 申込方法：参加希望者は、下記連絡先まで事前申込要
※みやぎのまつり会場での成果発表会ご鑑賞は、どなたでも可能
- 主 催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連 絡 先：事務局(担当：吉澤)
〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX：022-375-3548

10/13

健康的に歩いて巡る歴史散策
～仙台三十三観音堂巡り～

仙台の三十三観音は、全て市内の交通の便の良い所にあるにもかかわらず、あまり存在を知られていません。三十三観音札所をマップにしたがって3回に分けて歩いて巡ります。めったに歩かない「杜の都・仙台」を歩き、今まで見えなかつ

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2013.9.16現在)敬称略

●正会員 50名

- ★気仙沼市 ●NPO法人泉里会
- ★仙台市 ●大泉大介
- ★名取市 ●NPO法人エフエムなとり

●賛助会員 83名

- ★柴田町 ●青少年と障がい者の自立支援センター
とおきの広場
- ★仙台市 ●NPO法人あかねグループ
●(社)宮城県ろうあ協会 会長 小泉 正壽

会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

9月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

キッズベース ウィークエンドキャンプ 2013

当法人では公共交通機関を使って行けないところ、あるいは移動時間がかかってなかなか行くことができない場所を選び、マイクロバスを利用して「ウィークエンドキャンプ」を行っています。来年3月までのウィークエンドキャンプをお手伝いしていただける方を募集しています。

- 日時：10月12日(土) 感覚ミュージアム
11月8日(金) 仙台市天文台(天体観測)
12月25日(水) 八木山動物公園
1月11日(土) JASA-ファーム(ポニーと遊ぶ雪遊び)
2月8日(土) 泉ヶ岳スキー場(雪遊び)
3月29日(土) 亘理方面(イチゴ狩り)
※全日程10:00～15:00(11/8のみ15:00～20:00)
- 募集人員：40人(各回4名程度)
- 報酬：交通費として500円
- 託児：小学生のお子様に限り一緒にイベントに参加可能
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
- 主催：NPO法人働くお母さんと子どもを支援する会
- 連絡先：(担当：石森)
〒981-3135 仙台市青葉区北根黒松2-10
クローバーズ・ピアワッセ 2階
TEL：022-346-0130 FAX：022-346-0156
E-mail：talisman@kidsbase.jp
URL：http://kidsbase.jp/

フラワーボランティア養成講座(初級)

「花でコミュニケーション」を理念に、フラワーセラピーを学び、花の専門ボランティア・フラワーセラピストを目指します。

- 日程：10月～3月(毎月2回 計12回 6か月コース)
- 場所：みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 対象：花が好き、花でボランティアがしたい方
- 参加費：受講料21,000円 花材費30,000円程度
- 申込方法：以下連絡先まで、お問い合わせください
- 主催：NPO法人フラワーセラピー研究会仙台地区
- 連絡先：代表・上野
TEL：090-9428-4342 FAX：022-274-0961

有給スタッフ

事務、製造、クリエイティブ 有給スタッフ募集

豊かな自然に囲まれた工房で、素朴で懐かしい焼き菓子や牡蠣加工品を作っています。メンバー大募集!

- 業務内容：(1)事務(総務、会計)
(2)製造(焼き菓子、牡蠣加工品)

(3)EC管理(受発注業務等)

- 勤務時間：勤務日数は応相談(週4～5日勤務できる方希望)
8:30～17:30
- 勤務場所：気仙沼市唐桑町西舞根133-7 森里海工房
- 時給：730円～(試用期間中(1ヶ月)725円)
- 対象：年齢不問、未経験者大歓迎!
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください
- 募集主体：NPO法人ピースネイチャーラボ
- 連絡先：〒988-0527 気仙沼市唐桑町西舞根133-7 森里海工房
TEL：0226-32-3480 FAX：0226-25-9634
E-mail：info@pnl.jp
URL：http://www.morisatoumi.jp/

事業案内

マンション管理士を無料で派遣します!

マンションに関する問題であれば、何でもOK。一度、専門家に相談してみませんか?中立・公平な立場からアドバイスいたします。

- 派遣先：原則として理事会もしくは総会を対象とします
- 相談料：無料。交通費は実費精算をお願いします
※なお、2回目からは有料となります
- 相談申込：所定の相談票に必要事項を記入の上、FAXにて申込
- 主催：一般社団法人宮城県マンション管理士会
- 連絡先：事務局
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-5-13 三矢ビル6階
TEL：022-224-3630 FAX：022-263-5088

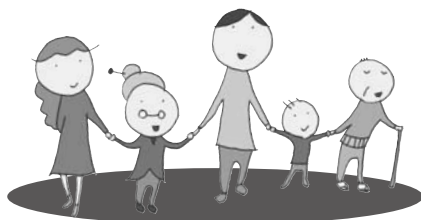
イベント

10/3 みんな de 集まる手しごとワーク ショップ「キーホルダーを作る会」

お気に入りの生地を使って、世界にたったひとつのオリジナルキーホルダーを一緒に作りましょう。作品ができたなら、テーブルを囲んでのおしゃべりタイム。ゆったり楽しい時間を過ごしましょう。

- 日時：10月3日(木)、10日(木)、17日(木)、
24日(木)、31日(木)
午前の部10:00～12:00 午後の部13:00～15:00
- 場所：亘理町字中町22
(WATALIS工房隣の白い箱型の建物)
- 講師：小川百恵氏、齋藤真奈美氏(手しごと愛好家)
- 定員：先着20名
- 参加費：無料
- 申込方法：電話、もしくはWATALISに直接お越しいただいて申込
- 主催：宮城県亘理町てしごとプロジェクト・一般社団法人WATALIS
- 連絡先：TEL：0223-35-7341

平成25年度
WAM
助成セミナー
in仙台



今回のセミナーでは、基調講演とWAM助成を活用した団体による活動報告のほか、WAM助成制度の説明も行います。また、活動の参考になるポイントや工夫などを、参加者同士で気軽に意見交換を行う時間も設けています。

福祉活動に取り組んでいる方、WAM助成に関心をお持ちの方など、今後のヒントやつながりを得る機会としてぜひご参加ください！

■プログラム

第1部

■基調講演

「助成金の有効活用
一忘れてはならない市民への還元」
大久保朝江氏
(NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)

■活動報告

村上昌芳氏(NPO法人LEAF26理事長)
今井誠二氏(NPO法人仙台夜まわりグループ理事長)

■WAM助成制度のご案内

第2部

■意見交換会

※参加希望者のみ

10月17日(木)
13:00~16:50

場 所 TKPガーデンシティ仙台
ホールB-2
(仙台市青葉区中央1-3-1 AER21F)

定 員 100名(要申込、先着順)

参加費 無料

申 込 下記申込専用URLからお申込み下さい

<http://hp.wam.go.jp/jyosei/tabid/1633/Default.aspx>

問合せ NPO法人杜の伝言板ゆるる
連絡先は本ページ下部をご覧ください

主催：独立行政法人福祉医療機構 (WAM)

運営：NPO法人杜の伝言板ゆるる

知って、つながる！
**みやぎNPO
フォーラム
2013**

今年もやってまいりました、年に一度のNPOフォーラム！
活動の輪を広げたい団体さんも、活動の輪に入りたい
市民のみなさんも、こぞってお集まりください！
みんなでみやぎのNPOを盛り上げましょう！

11/16
土

時間 10:00~16:30

場所 みやぎNPOプラザ全館

対象 どなたでも

メインプログラム

@交流サロン

●10:00~12:00 **【講座】活動をより印象的にアピール！
NPOのための話し方セミナー**

参加費
1,000円

NPOが支援者を増やすには、様々な場面で、自らの活動をよりわかりやすく、より印象的に伝えることが求められます。フリーキャスター、声と話し方のコンサルタントとして活躍中の講師が、表情の作り方や発声方法など、「伝わる話し方のコツ」を伝授します。

■講師：赤間裕子さん(ヴォイス&トーク代表)
■定員：40名(申込先着順) ■対象：市民活動団体限定

●13:00~15:00 **【パネルディスカッション】
みやぎの若手 NPO リーダーに聞く！**

参加費
無料

みやぎの次世代NPOを担う注目の3名を招き、これまでの経緯と今後の展望を語り合います。

■パネリスト：遠藤一恵さん(NPO法人パソコンママネット理事長)
齋藤勇介さん(NPO法人子育て応援団ひよこ理事長)
千葉和義さん(NPO法人Azuma-re代表理事)
■定員：40名(申込先着順)

●15:30~16:30 **交流会**

参加費
500円

参加者同士の交流を広げましょう！
おいしい軽食とお飲み物をご用意してお待ちしています。

■定員：30名(希望者のみ)

そのほか、
NPOによる
ワークショップや
ショップコーナー
もあります。

詳細は次号にて！

主催：宮城県(みやぎNPOプラザ) 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる 問合せ・申込先：みやぎNPOプラザ(連絡先は8pをご覧ください)